

県西地域の都道府県間に係る患者の流出入調整について

高度急性期

患者住所地 (入院が必要な患者は、すべて住所地の医療圏に入院するものと仮定して推計した患者数)

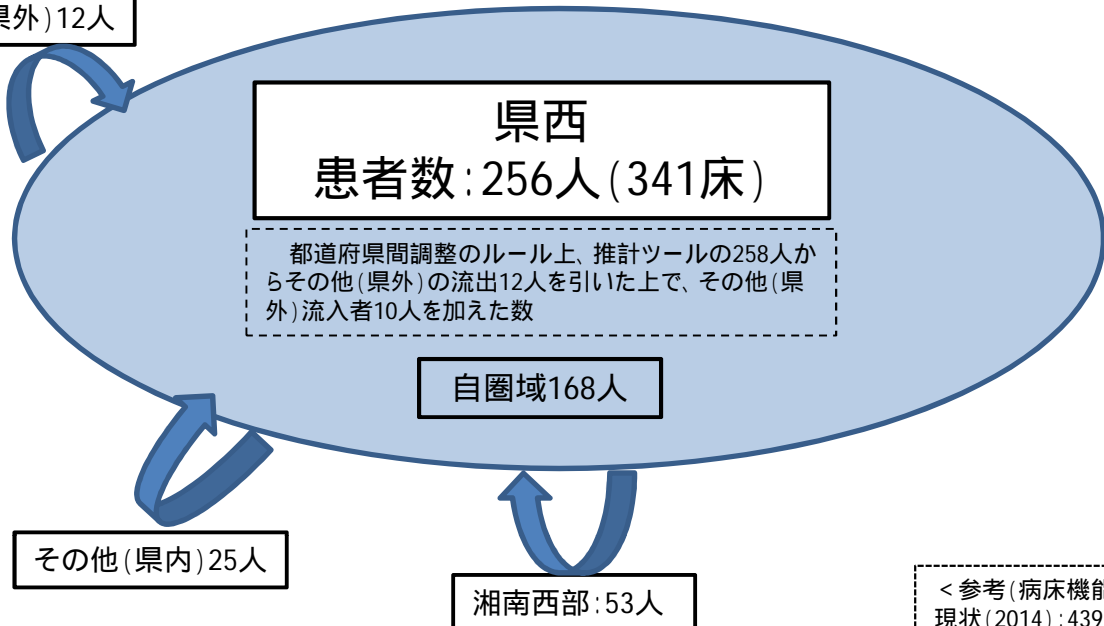
< 留意事項 >

・小数点以下を四捨五入しているため、流出入の内訳数の合計が必要病床数ツールで算出した患者数と一致しない場合がある

自圏域の患者と流出患者を自医療圏で対応するという考え方 (流入患者は、相手医療圏で対応)

一医療圏で10人以上流出している都道府県がないため調整不要

その他(県外)12人



都道府県間調整のルール上、推計ツールの258人からその他(県外)の流出12人を引いた上で、その他(県外)流入者10人を加えた数

自圏域168人

その他(県内)25人

湘南西部: 53人

< 参考(病床機能報告) >
現状(2014): 439床

医療機関所在地 (患者の流出入が現行のまま継続するものと仮定して推計した患者数)

自圏域の患者と流入患者を自医療圏で対応するという考え方 (流出患者は、相手医療圏で対応)

一医療圏で10人以上流入している都道府県がないため調整不要

その他(県外)10人



県西
患者数: 201人 (268床)

自圏域168人

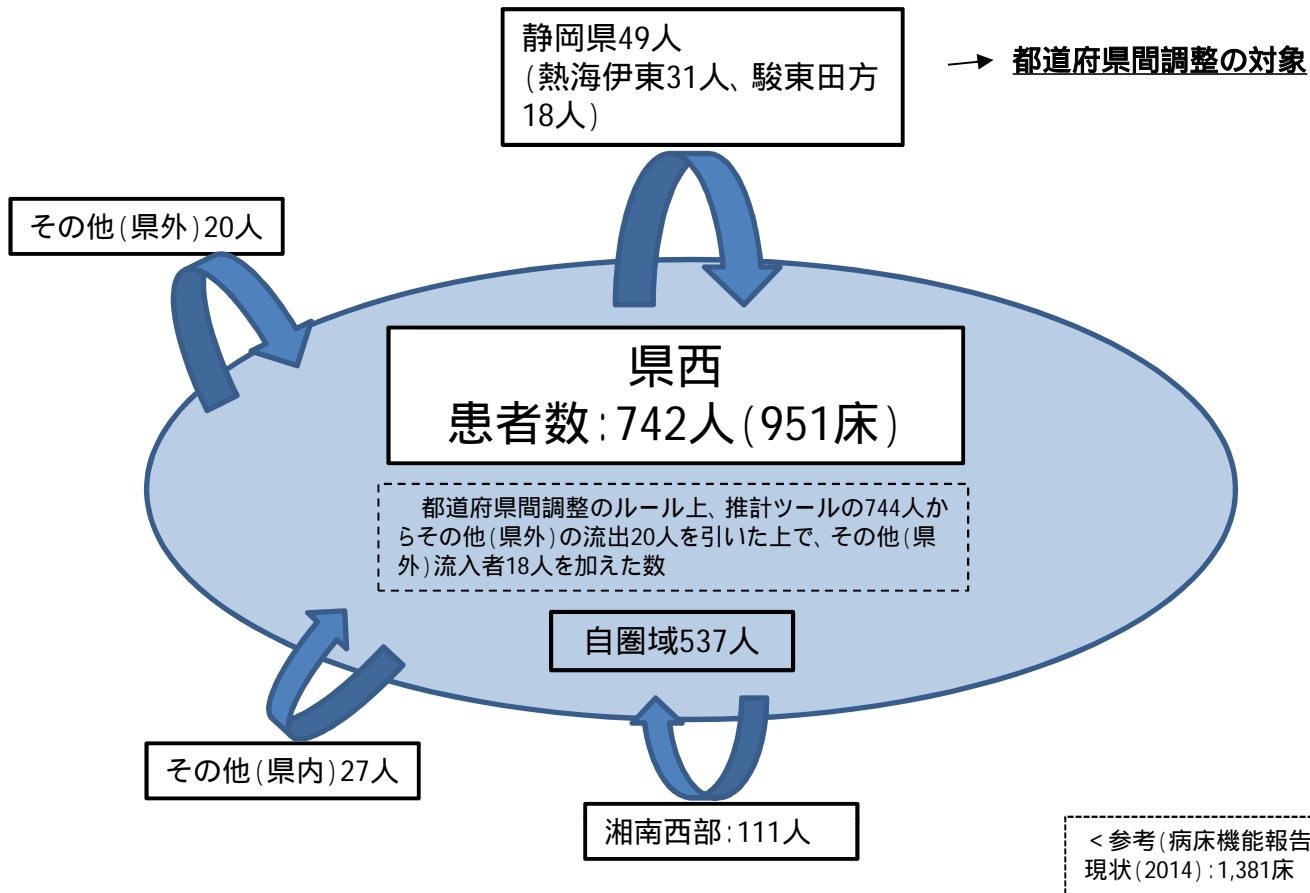
その他(県内)
7人

湘南西部: 17人

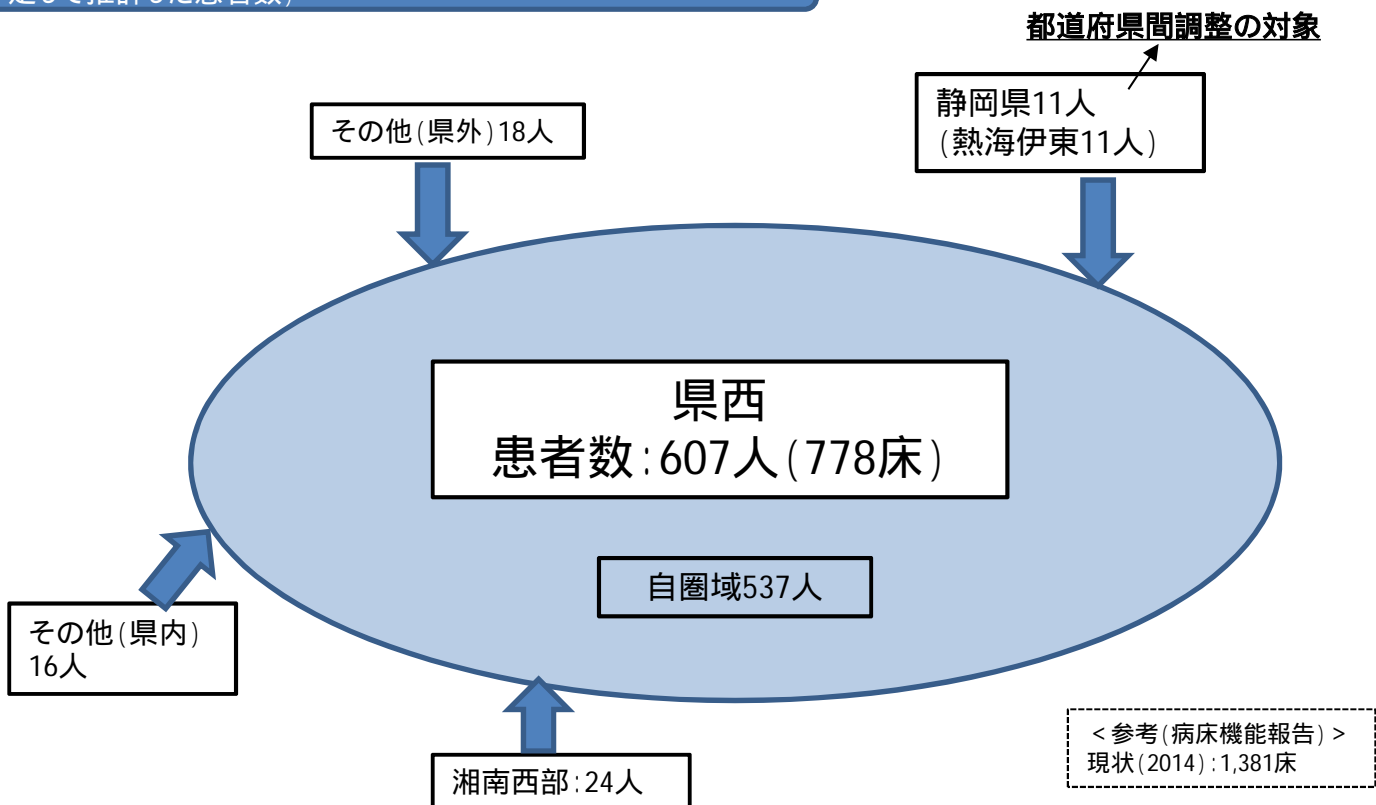
< 参考(病床機能報告) >
現状(2014): 439床

急性期

患者住所地(入院が必要な患者は、すべて住所地の医療圏に入院するものと仮定して推計した患者数)

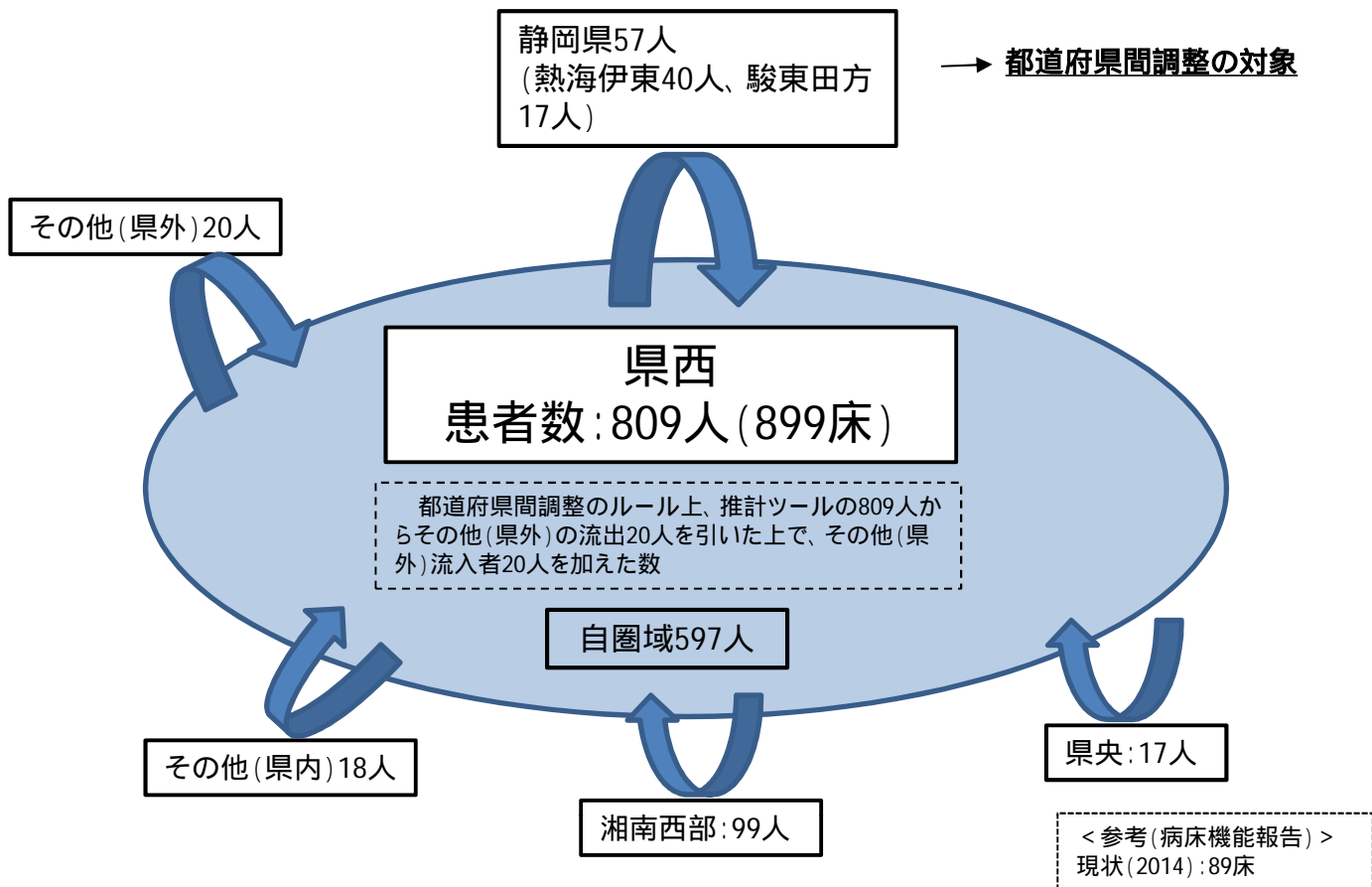


医療機関所在地(患者の流出入が現行のまま継続するものと仮定して推計した患者数)

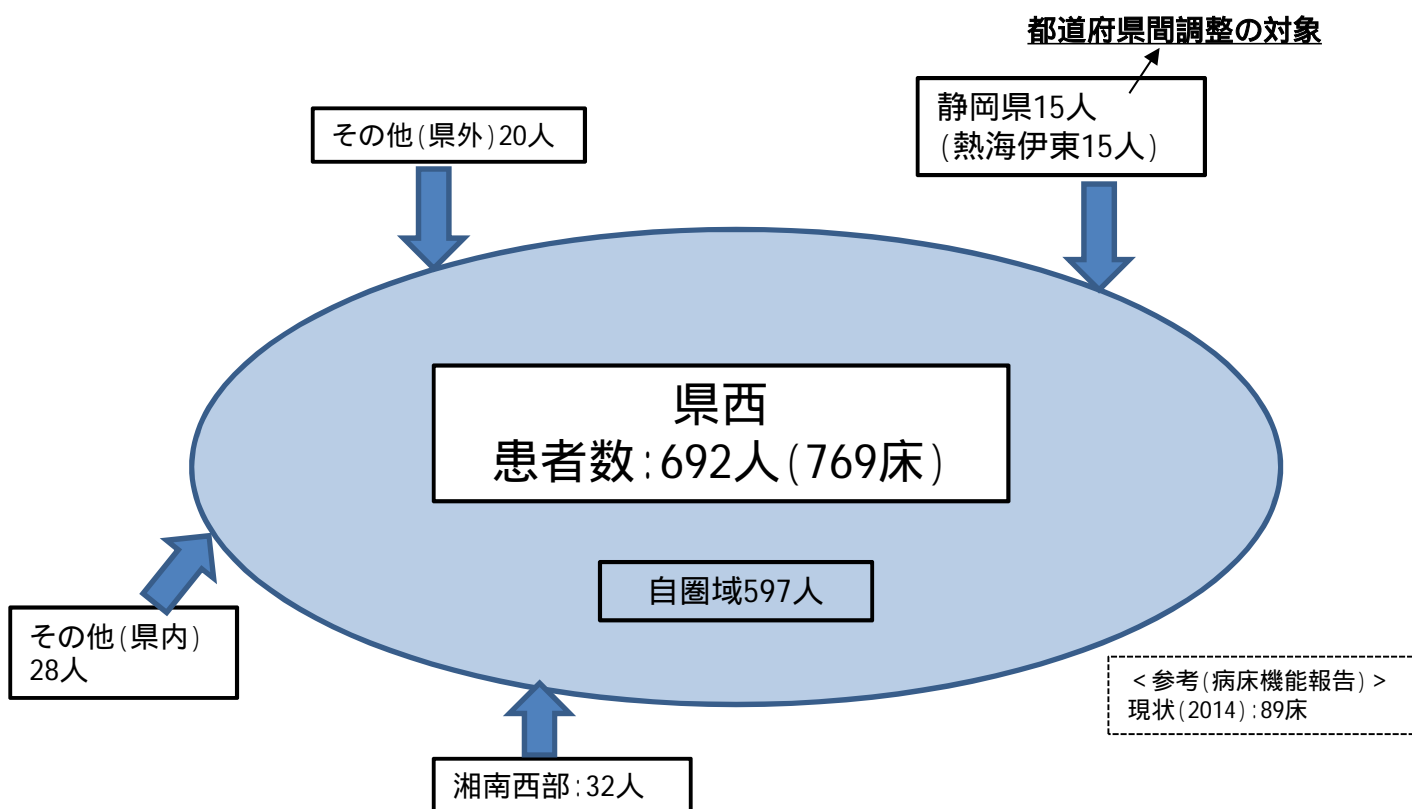


回復期

患者住所地 (入院が必要な患者は、すべて住所地の医療圏に入院するものと仮定して推計した患者数)

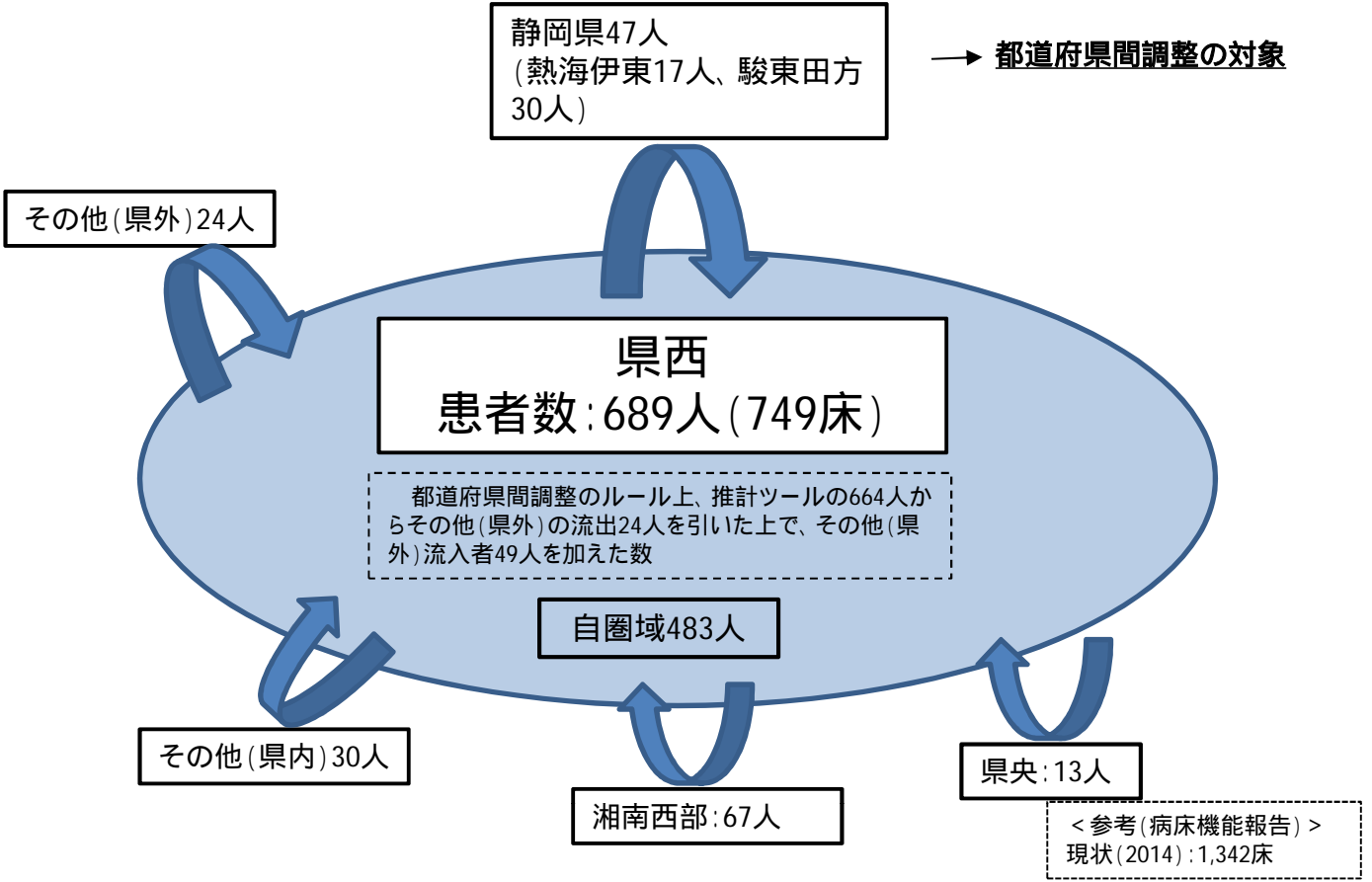


医療機関所在地 (患者の流出入が現行のまま継続するものと仮定して推計した患者数)



慢性期B

患者住所地(入院が必要な患者は、すべて住所地の医療圏に入院するものと仮定して推計した患者数)



医療機関所在地(患者の流出入が現行のまま継続するものと仮定して推計した患者数)

